

とうじょう かずよし
藤乗 一由

町づくりへ提案

2010.10/1

藤乗 一由 後援会 0475-42-6068



- 1.教育環境の整備をすすめます。～子育てをしたい町を目指して
- 2.開かれた議会の実現をめざします。～住民と共に考える
- 3.一宮の個性を生かした魅力ある町づくり～環境・農業を軸に、新たな魅力の創出
- 4.安全・安心な町・思いやりの町づくり

1.教育環境の整備をすすめます。～子育てをしたい町を目指して

「延長保育などの環境をもう少し改善してほしい」

「小中学校の教育の場をもっとよくできないか」…

一宮に住んで、子供を育てをして、住み続けたいと感じる子育ての環境づくり、教育環境の整備をすすめる事は、これからの中の町のあり方を考えるときとても重要です。

《安心して子育て出来る町、一宮らしい個性をもった教育、次世代を育む教育をめざし、そのためのしくみづくりに取り組みます。》

この一宮の自然・歴史・文化的な環境を生かす教育のあり方を考えるべき時です。

一宮の未来を支えるのは何か。

教育を通じ、みんなの力で、次の世代に安心して
引き継げる町づくりを目指しましょう。

2.開かれた議会の実現をめざします。～住民と共に考える

「議会は、議員は、何をやっているんだろう」「議員の報酬が高すぎるんではないか」
そんな意見が頻繁にされています。名古屋市、鹿児島県阿久根市での市長と議員の対立には、様々な意見がありますが、議会・議員の役割と仕事が見えない。大きな要因です。

「議会を傍聴に行く暇なんてあるわけがない」「そんなの聞いてもしょうがない」
でも、関心がある方は、実際に傍聴に来る方よりずっと多いのです。それを何とかえて自分たちのやっていることを知ってもらう。議会の責任として重要な事柄のはずです。

《インターネット等の利用、議会報告会の実施などで、誰にも見える議会・
よくわかる議会とするための環境づくりをすすめます。》

《住民の要望をきめ細かく吸収し、町の将来についてより深く議論しあう議会
を目指します（議会基本条例の制定が求められます）。》

《町づくり基本条例の制定に取り組みます。》

《意欲をもつ誰でもが議員となり、町づくりを進められる環境整備を提案します。》

行政がそうであるように、議会・議員も、私達町民みんなと密接につながり、
よりよい町づくりが進められるはずです。

3.一宮の個性を生かした魅力ある町づくり

～環境・農業を軸に、新たな魅力の創出

農産物の生産販売の形も大きく変化し、単一品目でのブランドづくりでの大規模な生産・出荷だけではなく、販売ルートも多様になってきています。

従来からの重要な商品である、梨・トマト・メロンはもちろん、他の農産物や、加工品など多品目を面として販売してゆき、総合力としての一宮ブランドづくりという考え方を進めるべきでしょう。

《農産物の新たな販売ルートの開拓を積極的に進め、販売環境の整備を図ります。》

《安全な食と農をテーマとした農産物の育成を進め、総合力としての新たな

一宮ブランドづくりを目指します。》

《豊かな自然環境と文化・歴史に根ざし、個性を生かした魅力ある町づくりを目指し、

同時に広く積極的な広報に努めます。》

農業を支え、農地を守る、そして自然環境も保全されてゆきます。

自然環境は、一宮の最も重要な財産の一つです。

一宮の歴史文化と環境を、観光・産業と一緒にアピールし、

住む人にとっても魅力ある個性的な町として誇れる。

そんな町づくりを進めてゆく時です。

4.安全・安心な町・思いやりの町づくり

様々な年代が地域で密接につながり、互いに支え合う地域コミュニティーのあり方を模索して、今の時代にふさわしいしくみの再構築が必要となってきています。

《安心して暮らし、誇りをもって住み続けたい町としてゆくための、

各種の環境整備を提案します。》

行政・地域・民間が、高齢者などを支援している仕組みを有機的につなぎ、

より細やかに支えられる環境整備をすすめるべき時代です。

一宮は人を育てる町。そうなってほしい。

自然環境の保全や親子での自然観察、体験の行事などを通じ、多くの方に触れあって感じます。

祭りを初め、様々な行事に、多くの方が熱意を持って取り組んでいます。町に生まれ育った人、越してこられた方、みんな一宮が好きなんだなと改めて気付かされます。

一宮に住み、自然・歴史などの環境の中で子育てをしてゆきたい。一宮は、その独自の良さを持っているからこそいい。そんな思いのうちに、互いにささえあう町、そうなってほしいと思います。

行政と住民が手を携え、より良い町づくりを模索してゆくべき時代です。各地の自治体で様々な試みがなされています。一宮でも行政は、より一層の努力を図るべき時が来ていますが、これをチェックし、将来への方向付けとなる、新たな政策を提案してゆくべき町議会にも、更に重責が課せられています。今だけでなく、10年20年後の一宮を支える人を育てる町。新たな町づくりをみんなで考えましょう！